平成27年度　目標管理シート（課別組織目標）

課かい名	農業振興課	課かい長名	山　本　　誠

組織目標	・農業経営の安定をめざし、需要に応じた農産物の生産振興を図ります。 ・農業生産性の向上による所得増を図り、経営の安定を目指します。

課重点事業番号	今年度取り組む重点施策とその具体的目標等 課重点事業 関連重点施策番号・支所重点事業番号	①具体的目標（当該年度で、何を（どのような現状を）どのような状態にするのか） ②課題、特記事項等		具体的目標を達成するための具体的な方法、手段、スケジュール等	変更内容	中間レビュー　（10月1日時点） ・上半期（4月～9月）における進捗状況（活動実績等） ・下半期（10月～3月）に向けた課題等	中間進捗度	目標の達成状況（3月末時点見込） ・目標達成のために行った取組（活動実績等） ・その取組による効果（達成できなかった事由、理由等）	達成度	次年度に向けて（引継ぎ事項） ①具体的目標（次年度において、どのような現状をどのような状態にしたいのか） ②課題、特記事項等	
農業振興課①	**八代農業みらい創生会議の推進** 農林水産部②	①具体的目標	八代農業のあるべき姿（需要に応じた農産物の生産振興）の実現に向け、中・長期的目標を設定し、目標達成（農業生産性の向上により所得増を図り経営の安定）に向けた事業実施計画を策定するための現状把握と問題・課題を抽出する。	農林水産部関係各課の連携を図り、県・農業団体等の参画を得て、農業者等の意識を反映する。 〇 5～6月 会議の設立に向けた事前作業部会を開催し、検討項目を選定し現状分析と課題を抽出する 〇 7月 参加団体の代表からなる会議を設置し、具体的検討を始める。 〇 12月 作業部会における調査・検討内容の報告と今後の調査内容についての中間検討会を実施する。 〇 3月 平成27年度実績報告と次年度計画について検討する。						①具体的目標	
		②課題、特記事項等	農業者等の問題・課題等を把握する必要がある。 農業者の意識調査等を行い、農業生産の方向性について検討する必要がある。							②課題・特記事項等	
農業振興課②	**環境保全型農業の推進** 農林水産部②	①具体的目標	化学肥料や化学合成農薬の使用料低減など生物多様性保全や環境保全効果の高い農業生産方式を推進し、持続性のある農業を展開する。	化学肥料や農薬使用の低減への理解を図りながら環境保全意識を高めるとともに、代替技術の導入について検討を進める。 ① エコファーマーについて、新規認定並びに5年更新者への啓発を推進する。 ② くまもとグリーン農業生産・応援宣言を推進し、環境に配慮した熊本県産農産物への意識効用を図る。 ③ 環境保全型農業直接支払交付金事業を推進し、生物多様性と地球温暖化に貢献する営農活動を普及する。						①具体的目標	
		②課題、特記事項等	化学肥料や農薬使用について理解を深める必要がある。							②課題・特記事項等	

課重点事業番号	今年度取り組む重点施策とその具体的目標等 課重点事業 関連重点施策番号・支所重点事業番号	①具体的目標（当該年度で、何を（どのような現状を）どのような状態にするのか） ②課題、特記事項等		具体的目標を達成するための具体的な方法、手段、スケジュール等	変更内容	中間レビュー （10月1日時点） ・上半期（４月～９月）における進捗状況（活動実績等） ・下半期（１０月～３月）に向けた課題等	中間進捗度	目標の達成状況（3月末時点見込） ・目標達成のために行った取組（活動実績等） ・その取組による効果(達成できなかった事由、理由等)	達成度	次年度に向けて（引継ぎ事項） ①具体的目標（次年度において、どのような現状をどのような状態にしたいのか） ②課題、特記事項等	
農業振興課③	**家畜伝染病防疫対策の的確な実施** 農林水産部②	①具体的目標	八代管内で発生又は消毒ポイント設置の場合、熊本県が実施する防疫対策の後方支援の迅速な対応を図るための体制を整備する。	① 熊本県防疫対策要領に基づき八代市家畜伝染病防疫対策要領を見直す。 ② 家畜伝染病種別ごとの消毒ポイントを作成し、ケースごとの防疫対策案を作成し、関係機関との調整を図る。 〇 ４月～7月 八代市家畜伝染病防疫対策要領を見直し、平成27年度派遣候補職員名簿を作成する。 〇 ９月～10月 派遣候補職員への説明会を開催する。 〇 八代市における家畜伝染病発生リスクの地域を予測し、迅速な対応をする。 ・鳥インフルエンザ ： 鏡、東陽地域 ・ 口蹄疫 ： 八代、坂本、鏡、泉地域						①具体的目標	
		②課題、特記事項等	発生経験が無い為、発生地区の対応状況を参考にして八代家畜伝染病防疫対策要領を見直す必要がある。							②課題・特記事項等	
農業振興課④	**いぐさ・畳表の産地活性化（農業生産性の向上による経営の安定）** 農林水産部② 農林水産部⑥	①具体的目標	国内唯一のいぐさ産地である八代地域の活性化に向け、現状把握と課題を抽出し、中・長期的ビジョン（アクションプラン）を策定する。	① 県、氷川町、農業団体及び関係業界団体等との連携強化を図る。 ② 若手生産者及び担い手の意識調査を実施する。 〇 ４月 アクションプラン作成作業部会を行う。 〇 ４～5月 アクションプラン骨子を作成する。 〇 ５～９月 作業部会を行う。 〇 ９月 中間報告を実施する。 〇 10～2月 作業部会を行う。 〇 ３月 アクションプランを完成する。						①具体的目標	
		②課題、特記事項等	① 県、氷川町、農業団体及び関係業界団体等との連携強化を図る必要がある。 ② 若手生産者及び担い手の意識調査を実施する必要がある。							②課題・特記事項等	

課重点事業番号	今年度取り組む重点施策とその具体的目標等 課重点事業 関連重点施策番号・支所重点事業番号	①具体的目標（当該年度で、何を（どのような現状を）どのような状態にするのか） ②課題、特記事項等		具体的目標を達成するための具体的な方法、手段、スケジュール等	変更内容	中間レビュー （10月1日時点） ・上半期（４月～９月）における進捗状況（活動実績等） ・下半期（１０月～３月）に向けた課題等	中間進捗度	目標の達成状況（3月末時点見込） ・目標達成のために行った取組（活動実績等） ・その取組による効果（達成できなかった事由、理由等）	達成度	次年度に向けて（引継ぎ事項） ①具体的目標（次年度において、どのような現状をどのような状態にしたいのか） ②課題、特記事項等	
農業振興課⑤	**主要農産物の振興（農業生産性の向上による経営の安定）** 農林水産部②	①具体的目標	① 秋春トマトについては、日本一の産地を維持する。 ② いぐさについては、国内唯一の産地であるため、品質の維持およびブランド化を推進する。 ③ 露地野菜については、安定した収入確保のため、市場動向などの情報収集を行う。	① 各種補助事業の利用促進を促す。 ② 市場動向調査の実施及び結果のフィードバックを実施する。 ③ 農産物・農産加工品の地理的表示の利用促進を図る。						①具体的目標	
		②課題、特記事項等	① 生産者の意識の高揚を図る必要がある。 ② 消費の動向を把握する必要がある。 ③ 関係団体等との連携強化を図る必要がある。							②課題・特記事項等	
農業振興課⑥	**地域特産物の推進** 農林水産部⑥	①具体的目標	① 柚子については、作業の共同化を推進する。 ② 生姜については、適正管理と作業の共同化を推進する。 ③ 葉たばこについては、高品質化を推進する。 ④ アスパラについては、試験圃場を設け、中山間地域での栽培の基礎データを収集する。	①柚子 管理作業の共同化による高品質化を推進する。 ②生姜 収穫機械の導入等による高収量・高品質化の推進を図る。 ③葉たばこ 乾燥施設の改修による高品質化の推進を図る。 ④アスパラ 試験圃場の設置及び栽培データを収集する。						①具体的目標	
		②課題、特記事項等	① 生産者の高齢化により、労働力の確保を図る必要がある。 ② 共同作業組織を育成する必要がある。 ③ 安定した販売先の確保（流通システムの確立）を図る必要がある。							②課題・特記事項等	